

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ロジックス	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.046	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ロジックス

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番

比較対照ボール：サイボーグ・パール

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 インチ

表面加工

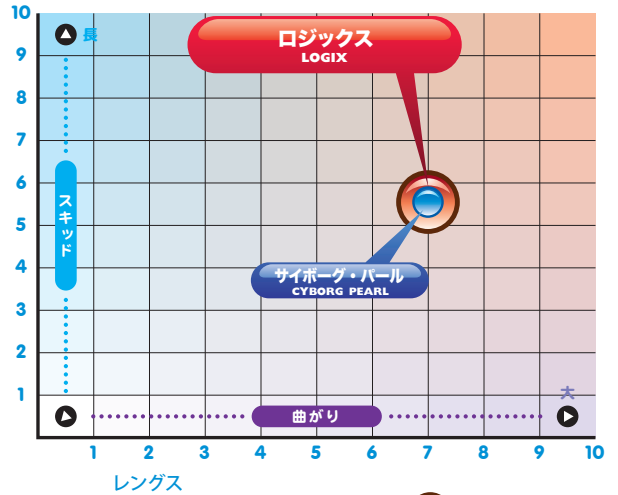
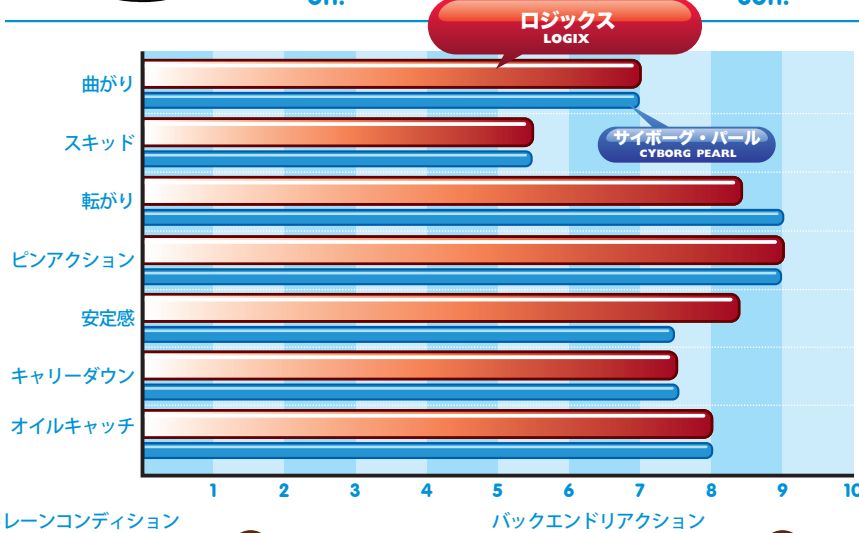
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

EBI(Ebonite International)のTRACKとCOLUMBIA、最近では新しい添加物が加えられカバーストックの進化により、以前からのSolidカバーの開発から先月に発売されたMAKO ATTACKにみられるHybridやPearl素材に移行しています。それはSolid素材でなくても十分なオイルに対する強さと鋭さをパフォーマンスとして表すことができるようになったため、CYBORG PEARLから顕著に違いが現れています。CYBORG PEARLはQR-7 Pearl(Quick Response)で作成されており、UMP(Upper Mid Performance)領域では十分な性能を発揮できています。今回のLOGIXはCYBORG PEARLと同じQR-7 Pearlカバーストックであり、LEGIONで使用したLT-2コアでの発売です。

投球した感じは直線的なクリーンなスキッドというよりはややキャッチを伴う滑りのないスキッドで、レーンの中盤から後半にかけてコアの大きなネジれを感じます。極端に過激な反応はせず、常にレーンと接地しながら動いている感じが軌道に安定と操作性を見出してくれます。私はスペックを知らずにテストングしていましたが、第一印象は”ミディアムコンディションで凄く安定感がある”と思いました。派手さはないものの①③番にボールを集めることが楽に感じるというか、曲がり始めてからの軌道が予想しやすい性能であると読み取りました。カバーストックの強さとしてはこのQR-7ぐらいが一番ミディアムコンディションでバランスが取れていると思います。手前は走りを感じますし、強すぎてMidでつかまり過ぎることもなく、手前と奥のバランスがとても良く感じます。派手さを求める方もいらっしゃると思いますが、派手に動けば動くほど曲がりキツくなり、それだけオイルを余分に使わなければならなくなります。”的確にポケットへ集めやすいボール”それこそがスコアメイクの鍵となるでしょう。

特記事項

ミディアムコンディションで抜群のバランスを誇るQR-7 PearlカバーストックとLT-2コアとの組み合わせ。安定感と操作性が高く、武器になること間違いなしです。